

環境省・オフセット・クレジット認証運営委員会  
(事務局：気候変動対策認証センター) 御中

平成 23年3月29日

## 妥当性確認結果の概要報告書

妥当性確認の審査結果ならびにパブリックコメントの概要について以下の通り報告いたします。

対象プロジェクト名						
香川県 株式会社たまや による空調設備の圧縮機の更新を用いた温室効果ガス排出削減事業						
GHG 妥当性確認機関						
当該プロジェクトにおける妥当性確認を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。						
機関名	SGS ジャパン株式会社					
担当部署名	認証サービス事業部 サステナビリティサービス部					
担当者名	西 利道					
担当者 E-mail	Toshimichi.nishi@sgs.com					
担当者電話番号	045-330-5021					
機関要件への合致	暫定的な妥当性確認機関としての要件を満たし、暫定妥当性確認機関としての登録を受けている。					
妥当性確認報告書発行日	平成 23 年 3 月 16 日					
審査内容		審査結果概要				
適用妥当性確認・検証ガイドライン	オフセット・クレジット (J-VER) 制度 妥当性確認・検証ガイドライン Ver.1.2					
妥当性確認期間	2011 年 3 月 18 日～2013 年 3 月 31 日					
想定排出削減・吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012
	t-CO2	—	—	3	93	93
プロジェクト情報 (A・B)	プロジェクト計画書及び関係書類等を確認し、プロジェクト関係者に対するインタビュー及び現地確認を行った結果、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、当プロジェクトにおけるプロジェクト情報が重要性の点から適切に表記されており、オフセット・クレジット(J-VER)制度に依拠していることを確認し、妥当であると判断した。					
適格性要件 (C)	プロジェクト計画書及び関係書類等を確認し、プロジェクト関係者に対するインタビュー及び現地確認を行った結果、当プロジェクトは、当該方法論及び実施規則に準拠しており、適格性要件を満たしていることを確認した。デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、重要性の点から適切に表記されており、オフセット・クレジット(J-VER)制度に依拠していることを確認した。以上より、妥当であると判断した。					

<p>排出量・吸収量算定 (I・II)</p>	<p>モニタリング計画書及び証拠書類等を確認し、プロジェクト関係者に対するインタビュー及び現地確認を行った結果、当プロジェクトは、当該方法論及び実施規則に準拠しており、適格性要件を満たしていることを確認した。デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、重要性の点から適切に表記されており、オフセット・クレジット(J-VER)制度に依拠していることを確認した。以上より、妥当であると判断した。</p>
<p>モニタリング計画 (III～VI)</p>	<p>モニタリング計画書及び証拠書類等を確認し、プロジェクト関係者に対するインタビュー及び現地確認を行った結果、当プロジェクトは、当該方法論及び実施規則に準拠しており、適格性要件を満たしていることを確認した。デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、重要性の点から適切に表記されており、また不確かさの定量評価は 0%となり、オフセット・クレジット(J-VER)制度に依拠していることを確認した。以上より、妥当であると判断した。</p>
<p>その他(D)</p>	<p>プロジェクト計画書及び関係書類等を確認し、プロジェクト関係者に対するインタビュー及び現地確認を行った。関連する許認可及び関連法令等の順守状況、当プロジェクトにおけるプロジェクト情報が、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、重要性の点から適切に表記されており、オフセット・クレジット(J-VER)制度に依拠していることを確認し、妥当であると判断した。</p>
<p>機関の見解 (サマリー・結論)</p>	<p>香川県 株式会社たまや による空調設備の圧縮機の更新を用いた温室効果ガス排出削減事業に対し、提出されたプロジェクト計画書 Ver1.1 及び付属文書に示されたプロジェクトについて、合意された妥当性確認範囲、目的及び基準に基づき、合意的保証を付与する水準にて妥当性確認を実施した。その結果、プロジェクト計画書 Ver1.1 及び付属文書に示されたプロジェクトは、オフセット・クレジット (J-VER) 制度実施規則、モニタリング方法ガイドライン、排出削減ポジティブリスト・方法論 (E012・JEAM012) に依拠して作成されており、全ての重要な点に関し、適正であると判断した。 以上より、本プロジェクトに対しオフセット・クレジット (J-VER) 認証運営委員会による登録を行うことを推奨する。</p>
<p>パブリックコメントの概要</p>	
<p>パブリックコメントの募集期間 本プロジェクトに関して、2011年2月15日から2011年2月28日までの間、パブリックコメントを募集した。 コメント 受け付けられたコメントはなかった。 妥当性確認機関の見解 受け付けられたコメントはなかった。</p>	